

自己評価・外部評価 評価表 (別紙1)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				理念である『あなたが笑ってくれるから、わたしも笑顔になれる』を事業所内に掲示している。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念として、特に問題はないと思います。事業所独自の理念が掲げられています。 ・当該理念に賛同します。理念を実現する強い心に期待します。 ・すばらしい理念だと思います。
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				事業所内の目につく場所に理念を掲示する事により目標を共有し、内容を理解できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示するだけではなく、職員会議等で定期的に共有し、内容を確認してはどうか。 ・内容を把握して目標を共有していると思われず。 ・職員が毎日、唱和すると内容の共有が一層図れると思います。 ・日々、理念を確認できる環境であり共有できている事は良いと思います。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			研修の年間計画を作成し内部研修は月に1回は開催できるように努めている。外部研修は、コロナ禍にてeラーニングでの研修を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面での研修は難しいためeラーニングでの研修受講を進めている事が良い。また、計画に沿って研修を受講(実施)し、それを実務に生かしていただきたい。 ・コロナ禍で内部外部研修を工夫しながら行えていると思います。 ・専門技術の向上に努めてください。 ・コロナ禍において、研修の方法が変更になっていますが上手く活用して下さい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の個々の能力を見て長所が最大限に発揮できるように努めている。	・介護現場での人材不足が深刻な問題となっているが、これからも職員の個々の能力が発揮されるよう努めていただきたい。 ・職員の個々の能力を考慮しながら適材適所の配置に心掛けていると思う。 ・持ち味を活かす配慮は大事だと思います。 ・職員の個々の能力が最大限に発揮できるように管理者は明確な評価を行えるようにして下さい。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			健康維持のアドバイスを受けケアに反映させている。看護師と情報共有及び助言指導を受け教育の場としている。	・個々のカンファレンス等行われています。情報共有も十分図れています。 ・健康維持の前提は、予防努力だと思います。 ・介護職と看護職の情報共有は、カンファレンス等を行いケアに反映する事が大切だと思います。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			可能な範囲で柔軟に対応出来るように、業務の工夫をしている。	・介護時の配慮や可能な範囲で柔軟な対応ができています。 ・左記の努力に期待します。 ・具体的にどのような対応をされていますか。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		会議での問題点・意見等をもとに改善策を検討しサービスに反映していくよう努める。(コロナ感染防止のため現在は困難)	・コロナ禍により対面での開催は困難だとは思いますが、まずは事業所のことを地域住民に知ってもらう事が重要ではないか。 ・コロナ感染防止のため困難だが、改善策を検討してはどうか。 ・左記の努力に期待します。 ・コロナ禍でも行っているような工夫を検討してください。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			職員間では毎日、申し送りを行い、会議等では利用者の情報共有を図っている	・関係者での情報共有は、できていると思われまます。 ・左記の努力に期待します。 ・毎日の申し送りや会議などで情報の共有が図れていると思います。
(5) 安全管理の徹底									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				災害時対応マニュアル作成し、職員に周知している 異常気象による災害マニュアルの作成を検討中。 職員の安全管理についてはマニュアル作成中	•必要に応じて見直し、災害時に迅速に対応ができるようにしていただきたい。 •具体的な対策を講じるように努めてほしい。 •左記の努力に期待します。 •災害時対応マニュアル作成後の訓練等も行えるような体制作りをして下さい。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報保護マニュアルを作成し職員に周知している 職員に対し、情報の保護及び扱いの誓約書ももらっている。	•マニュアルの作成や誓約書の提出は個人情報保護に有効であると思うので、今後も続けていただきたい。 •左記の努力に期待します。
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用開始までに、本人及び家族に聞き取りを行っている。	•担当者会議や面談にて確認できていると思われます。 •左記の努力に期待します。 •利用者の一日のリズムは重要です。しっかりアセスメントを行って下さい。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				介護・医療での連携・情報の共有化にてアセスメントを行っている	•介護と医療で情報共有を行い、連携が図られていると思う。 •左記の努力に期待します。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				利用開始に、生活習慣など把握に努め生活を軸にした計画・実施・見直しを行えるように努めている	•利用者の状態にもよるが取り組んでいただけていると思われます。 •左記の努力に期待します。 •維持回復の計画作成は大変だと思いますが、一人でも多くの対応をして下さい。
③	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				排泄状況・栄養状態などの変化観察を行い、利用者の今後の変化予備した計画書に反映するよう努めている。	•今後も利用者の状態を細かく観察し、計画の作成をしていただきたい。 •サービス提供時に体調の変化を日常的に観察し、責任者に報告することでサービス変更につながっていると思われる。 •左記の努力に期待します。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				健康上及び生活上の変化があった時は、随時訪問の回数を見直している。	・利用者等の状況に変化が生じた場合は、迅速な対応が必要であるため、柔軟に対応していただきたい。 ・状況に応じ柔軟に対応していると思われます。 ・左記の努力に期待します。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			日々の状態変化の早期把握に努め、ケアマネに報告する事で、計画の見直しに対応している。	・適宜反映がなされていると思います ・左記の努力に期待します。 ・ケアマネジャーとの連携を図り、早期の計画見直しは重要だと思います。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				介護職は、生活状態・健康観察。看護職は、健康管理疾病予防など、それぞれに専門的役割を果たしている	・それぞれの専門性をいかした役割分担ができています。 ・左記の通り、行えています。 ・左記の努力に期待します。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				病状の変化・予後予測など医療従事者よりの指導・助言は行っている。	・情報を共有すると共に連絡をとることができている。 ・左記の努力に期待します。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス開始契約の時に契約内容及び趣旨について確認・同意を得られるように努めている。	・今後もサービス開始前に利用者等に十分な情報提供や説明を実施していただきたい。 ・サービスを開始前に定期巡回・随時対応のサービスの特色やメリットなどわかりやすく説明をされていると思われます。 ・左記の努力に期待します。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画内容は、利用者・家族に説明をし、共通認識を得られるように努めている。	・丁寧な説明をされていると思います。 ・左記の努力に期待します。 ・利用者、家族との共通認識は特に大事だと思う。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況変化等があった時は、必ず家族に報告・相談を行っている。	・必ずご家族に報告、相談を行い適切に確認がとれています。 ・左記の努力に期待します。 ・少しの変化でも報告を受ける事で安心出来ると思います。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				利用者の状態変化・状況変化等の時は、必ず担当のケアマネへ報告・連絡・相談を行い、サービスへつなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーとの連携はできている 左記の通り行ってできています。 左記の努力に期待します。 ケアマネジャーとの情報共有を行いケアプラン等への変更をおこなって行きましょう。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○		必要に応じ提案を行う事もあるが、地域内のフォーマル・インフォーマルまでは至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 介護:医療連携推進会議で情報収集し、活用できそうなサービスがあればケアプランへ提案してはどうか。 ケアマネジャーとの連携を図り、地域内の社会資源を活用できるようにしていきたい。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議にて多職種で情報交換・共有を行っている。コロナ感染対策のため、電話等にての情報提供なども行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 左記の通りおこなえています。 左記の努力に期待します。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○			
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○					
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○				
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		迅速に情報の発信ができるように、整備・作成の準備をしている	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に介護・医療連携推進会議を開催し、情報発信をしていただきたい 特報の発信と、広報に期待します。 積極的な情報の発信をして下さい。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		サービスの概要及び特性等理解しやすいように説明を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 地域に正しい理解を広めるため、今以上に積極的な広報周知活動することを期待している。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		重要な役割があると理解はしている	・地域包括ケアシステム構築のためには行政、医療、介護サービス事業所、地域等の連携が必要であるため、内容について理解していただきたい。 ・当該ケアシステムの構築は必要。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○		広く展開できるための人員の確保に努めている	・人材確保の課題があるが、特定の建物等に限定せず、今後も地域へ広くサービス提供するよう努めていただきたい。 ・地域への展開を期待します。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)			○			・地域とのネットワークを活用できるように努力して下さい。
III 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○		安心して生活できるように利用者ごとの目標に向けて関わっている	・利用者ごとに目標を設定し、個人に目を向けて支援できている。 ・利用者の生活パターンに合わせ目標を設定していると思われます。 ・理念の実現化に期待します。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている			○		利用者やご家族から訪問にて顔を見ただけでも安心できると言葉を頂けている。	・今後も利用者が尊厳を保持し、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援していただきたい。 ・直接的に安心できるとの声が聞かれています。 ・理念の実現化に期待します。